

鼓童文化財団研修所紹介

鼓童の舞台を花にたとえれば、研修所のカリキュラムは、その「根」を育み、自分達の心身を耕してゆく取り組みです。全力で夢に向かい、自分と向き合いながら過ごす2年間。研修所で行われている様々な稽古や研修、生活の様子などをご紹介します。

写真●西田太郎、石原泰彦、洲崎拓郎、
ジョニ・ウェルズ、編集部



佐渡北端に位置する大野亀(おおのがめ)での野外稽古。雄大な自然の中で太鼓を響かせる。

様々な稽古・研修



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

- ① 箏の稽古。箏、胡弓、三味線などを自主的に選んで稽古する。
 ② 歌の稽古。民謡や各国の歌に触れながら、「自分」を引き出す歌作りの試みを行う。(講師:岡田京子先生) ③ 研修所所長・石原泰彦の指導による、岩手の芸能「鬼剣舞」の稽古。 ④ 山口幹文による「笛」の稽古。 ⑤ 辻勝による「大太鼓」の稽古。 ⑥ 船橋裕一郎による「三宅」の稽古。 ⑦ 能の謡(宝生流)の稽古は一年生の秋から。春には島内の能楽愛好者の皆さんとともに、能舞台での発表会に参加。(講師:松永政雄先生) ⑧ 「収穫祭」でのお茶席。茶道(裏千家)の稽古は、研修所入所後間もなく始まる。(講師:桃井宗生先生)

共同生活・身体づくり



自分達が育てたお米や野菜を味わう。「いち」をいただくことへの感謝、そして作ってくれた人への感謝の気持ちが生まれる。



研修所入所の日。この日から1、2年生約20名での生活が始まる。



- ① 食事作りは当番制で。大人数の食事作りで日ごとに手際が良くなっていく。
- ② 起床、食事、稽古など、開始時間は主に拍子木を鳴らして告げられる。
- ③ 研修生自身が作ったマイ竹箸。
- ④ 稽古場に限らず、雑巾がけは研修所の掃除の基本。



朝はストレッチの他、太極拳なども行っている。

研修所の一日（夏時間）

※スケジュールは季節によって変わります

4:50	起床、体操、掃除、トレーニング
6:50	朝食
7:30	ストレッチ、締め上げ、朝稽古
9:30	午前の稽古
	稽古の時間は太鼓や踊り、唄のなどの他に、農作業や造形、講義の時間も。年間およそ2/3が太鼓や踊りなどの時間、残りの1/3がそれ以外の時間に充てられます。
12:30	昼食・休憩
14:00	午後の稽古
	稽古は基本的に研修所で行われますが、内容によっては鼓童村でも稽古をします。季節や天候によっては野外でも稽古をします。
18:30	夕食
19:30	各自稽古・ミーティングなど
22:00	就寝



海沿いの道が毎朝のトレーニングコース。早歩きとダッシュを日課とし、基本の身体ができてきたところでランニングを組み合わせしていく。

研修所の四季

太鼓、踊り、唄、笛などの稽古に加え、四季折々の農作業や祭り、行事などが研修生の生活を彩ります。



研修所のある柿野浦集落の祭り。選ばれた者だけが、鬼の衣装を着けることを許される。



竹を割り、食事の時に使う箸を作る。

春



角材を削って、自分の手にあったハチを作る。一日も早く太鼓がたたけますように。



田植え。農作業は、できるだけ自分達の手を使って行う。



八月末の小木港祭りで踊られる「小木おけさ」の踊りとお囃子を、地元の方々から習う。



佐渡は周囲を暖流と寒流が交差し、様々な魚がとれる豊かな島。地元の魚屋さんを先生に迎えて、魚のさばき方講座。

夏



アースセレブレーションでの実地研修。スタッフとして様々な場所でお客様と接する。



自分達が育ててみたい野菜を、皆で相談しながら作る。水やり、草刈りそして収穫。

春先の種もみ選びから始まり、田植え、草取り。
手をかけて、待ちに待った稲刈りの日。稲に向かって唄を歌う。



春に枝を剪定、夏に摘蕾、そして毎月の草刈りを
経て、佐渡の特産品「おけさ柿」を収穫。

秋

研修生の自主企画・運営による「収穫祭」。自分
達で作ったお米や野菜で料理を作り、展示やお茶
席、数々の余興で、地元集落や研修所の講師の
皆様に感謝の気持ちを伝える。



一年生の秋には、近隣の岩首集落の祭りに参加。
十三晩にわたる稽古をつけていただき、習い覚えた
鬼太鼓を披露する。

一月の研修所。



冬

鼓童メンバーや講師の皆様、そして一年生に見守ら
れ修了式の日を迎える。佐渡太鼓体験交流館
にて。



いつもは茶道の稽古が行われている和泉邸で一年
生による「茶会席」。作法を学びながら、先生と
先輩へ、心づくしの料理で感謝を表す一日。

研修所の施設

研修生が日常的に生活し、稽古を行う拠点「鼓童文化財団研修所」。
廃校舎を活用させていただき、地域の方々との交流の場ともなっています。



鼓童文化財団研修所の全景。柿野浦という集落にある旧「岩首中学校」の校舎を借用。鼓童塾などのワークショップ会場としても使われる。「理科室」「校長室」など教室の呼び名や、掲示物などもそのままに使わせていただいている。

体育館は稽古場であると同時に、収穫祭など多くの
お客様をお招きする際の宴会場としても使われる。



※研修生募集については18ページをご覧ください。
窓辺に花を飾る心の余裕も忘れずに。



二階の教室は、男性の居室となっている。
「二年生が組になり、相部屋で寝起きを共にする。」